

## 再エネ設備情報及び省エネルギー対策の取組内容の公表資料

### 1. 設置概要

22.4kW の太陽光発電システムで、年間想定発電電力量は 20,895kWh。

設備	メーカー	品番	出力	数量
太陽光モジュール	ハンファジャパン株式会社	Q.PEAK DUO M-G11 400	400W	56 枚

設備	メーカー	品番	容量	数量
蓄電池システム	オムロンソーシアルソリューションズ株式会社	KP-BU164-S	16.4kWh	1 台

### 2. 導入場所

社会福祉法人 至誠学舎立川 至誠大空の家(東京都日野市万願寺 1-14-2)の屋上に設置。

### 3. 導入目的

電気使用量及び CO2 排出量の削減。

日没後の事務所での使用電力を蓄電池からの給電で賄い、再エネ設備の利用率を上げ、消費電力削減の効果をより高めるため。

また、発災時には従業員の一時待機場所として提供できるように電源を確保するため。

### 4. 他の事業者に向けた再エネ設備導入の参考となる情報

設備設置により CO2 削減量や電気料金削減が明確になることで、社員各々の省エネ意識が高まり、

無駄をなくすよう心がける行動が増加した。

停電時に備える設備を設置したことで、万が一の災害対策について社内共有のみならず家庭内でも再度確認を行うきっかけとなった。

### 5. 省エネルギー対策の取組内容

省エネ型の照明器具に交換を検討。

空調設備機器の設定温度の適正化。

ペーパーレスを意識して、可能な限り印刷物のゴミ排出量を減らす。

### 6. 上記事項の公表方法

弊社 HP に 2024 年 11 月頃を目安に紹介する。

掲載ページの URL <https://shiseigakuen.org/>